

原子力科学研究所の定常臨界実験装置（STACY）施設の機器製作に係る  
受注企業への不適合管理の指示について

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「当機構」といいます。）では、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の燃料デブリ取出しに係る臨界管理技術開発等のため、STACY を「溶液燃料<sup>\*1</sup>を用いる臨界実験装置」から「固体燃料<sup>\*2</sup>及び軽水を用いる臨界実験装置」へ更新改造する工事を進めています。

今般、STACY 更新改造に係る製作契約（受注者：富士電機株式会社）に基づき製作（製作者：木村化工機株式会社）しているダンプ槽<sup>\*3</sup>の支持脚（炭素鋼製）について、令和4年7月7日に当機構が工場立会検査を行ったところ、当機構が令和4年2月に材料確認検査を行ったものと異なる部材が取り付けられていることを発見しました。このため、7月8日以降の検査を中止及び製作を中断し、受注企業に対して経緯の説明を求めるとともに、7月14日に当該契約に基づく品質監査を実施し、品質管理上の問題があることを確認しました。経緯の詳細については現在も調査中ですが、当機構としては、受注企業に対し、7月15日以降の当該契約に係るすべての工事（安全確保に係る作業を除く。）を休止させるとともに、同社の品質保証計画に基づく不適合管理を指示し、原因究明及び再発防止対策を求めているところです。

なお、本情報は、「原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則」並びに当機構が定める「原子力科学研究所品質マネジメント計画書」及び「原子力科学研究所調達管理要領」に基づき、物品調達に関し他の原子力事業者等と共有すべき技術情報（速報）として公表するものです。

以上

---

\*1 硝酸ウラニル溶液。

\*2 ウラン酸化物焼結ペレット。

\*3 炉心に供給する減速材（軽水）を貯留する6 m<sup>3</sup>の鋼製縦型円筒形タンク。「試験研究の用に供する原子炉等の技術基準に関する規則」に基づく第4種容器。